

# I . 調査の概要



## 1 調査目的

---

この調査は、区政の課題について、区民の意識や意向を統計的にとらえ、今後の区政運営の基礎資料とするものである。

## 2 調査テーマ・内容

---

### (1) 区の施策および評価について

- ・居住性の評価や定住意向
- ・区への愛着、誇り
- ・施策の満足度と必要性
- ・施策への要望
- ・区政情報の入手
- ・ねりま区報
- ・ねりまほっとライン
- ・区ホームページ
- ・練馬区公式SNSアカウント
- ・わたしの便利帳
- ・区による情報発信

### (2) 防災について

#### —家庭での日頃の備え・災害発生時の行動について—

- ・大きな地震発生時の心配ごと
- ・災害時の家族との連絡方法の決めごと
- ・知っている区の防災情報
- ・家庭での備蓄状況
- ・日頃行っている安全対策
- ・在宅避難
- ・中高層住宅特有の被害の認知と対策
- ・災害発生時の自力での避難
- ・自分のまちを守るためにできること

#### —震災に伴う火災対策について—

- ・自宅で行っている火災対策
- ・消化器具の操作訓練の体験

#### —防災訓練への参加について—

- ・地域の防災活動の参加経験
- ・体験したい防災訓練

#### —水害への備えについて—

- ・自宅周辺の災害リスクの確認
- ・水害に備えて自らの行動計画の作成状況

#### —区の取組について—

- ・区に取り組んでほしい防災対策

### 3 調査設計

---

- (1) 調査地域 …………… 練馬区内全域
- (2) 調査対象 …………… 練馬区在住の満18歳以上の男女個人（外国人住民を含む）
- (3) 標本数 …………… 3,000サンプル
- (4) 対象者抽出方法 …… 層化二段無作為抽出法  
郵便番号に基づき、練馬区内を「5 地区区分（5 ページ）」  
に示すように4地区に層化し、地区の人口比に応じて地点数  
を比例配分した。
- (5) 調査方法 …………… 郵送法（郵送配布・郵送回収）または  
インターネット上の回答フォームでの回答
- (6) 調査期間 …………… 令和5年8月2日（水）～8月23日（水）
- (7) 調査機関 …………… 株式会社 総合企画

### 4 回収状況

---

	18歳以上人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	637,535	3,000	1,114	37.1%

※令和5年7月1日現在

<参考> 令和4年度回収状況

	18歳以上人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	635,466	3,000	1,115	37.2%

※令和4年8月1日現在

## 5 地区区分

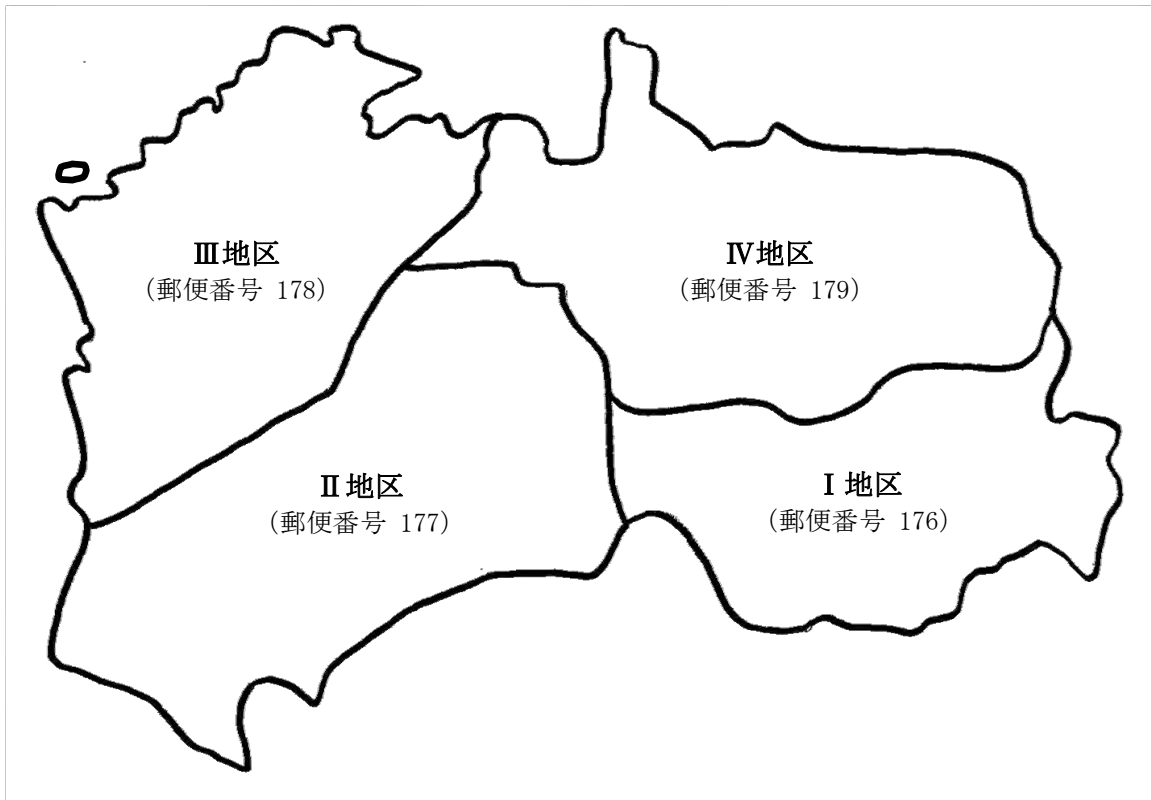


表 1 地区区分一覧

区 分	町 名
I 地区 (〒176)	練馬、桜台、羽沢、小竹町、旭丘、栄町、豊玉上、豊玉北、 豊玉中、豊玉南、貫井、向山、中村北、中村、中村南
II 地区 (〒177)	三原台、谷原、高野台、富士見台、南田中、石神井町、 下石神井、上石神井南町、上石神井、石神井台、関町北、 関町東、関町南、立野町
III 地区 (〒178)	大泉学園町、大泉町、東大泉、南大泉、西大泉、西大泉町
IV 地区 (〒179)	旭町、光が丘、田柄、春日町、高松、土支田、北町、錦、 平和台、氷川台、早宮

## 6 地区区分別回収状況

	18歳以上人口	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	637,535	3,000	1,114	37.1%
I 地区 (〒176)	157,003	741	243	32.8%
II 地区 (〒177)	183,789	867	331	38.2%
III地区 (〒178)	118,921	554	189	34.1%
IV地区 (〒179)	177,822	838	311	37.1%
(地区無回答)	-	-	40	-

## 7 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは、その質問への回答者総数のことである。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。このため、回答率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) フェイスシートとして、次の13項目をとりあげた。巻末集計表には、このうち9項目とのクロス集計結果を掲載してある。

①地区別	②性別	③年齢別	④性・年齢別
⑤職業別	⑥配偶者の有無別	⑦子どもの状況別	⑧居住年数別
⑨住居形態別	⑩住居所有形態別	⑪家族人数別	⑫家族構成別
⑬通勤・通学場所別			

- (5) 図表中、スペースの都合上、回答選択肢を短縮している場合がある。
- (6) フェイスシートの項目別や質問項目別に分析する場合、分析の都合に応じて、複数のカテゴリー（回答選択肢）を1つにまとめたり、あるカテゴリーを削除するなどの加工をしている場合がある。1つにまとめた場合に、それぞれの比率の合計と合わせた比率が異なる場合があるが、これは四捨五入による差異である。
- (7) 各設問の説明では、基数（n）が30に満たない項目は除いて比較している。
- (8) 巻末集計表では、属性部分から無回答を除いているため、該当者の合計が総数とならない場合がある。
- (9) 統計数値を考察するにあたり、割合の表現を以下の表記としている。

例	表 記
20.0～20.4%	2割
20.5～20.9%	約2割
21.0～23.9%	2割を超える
24.0～26.4%	2割半ば

例	表 記
26.5～28.9%	3割近く
29.0～29.4%	約3割
29.5～29.9%	3割

## 8 標本誤差について

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、誤差を数学的に計算することが可能である。

今回の調査の回答結果から、母集団（練馬区在住の満18歳以上の男女）全体の比率を推定するため、層化二段無作為抽出法の場合の標本誤差の〈算出式〉と〈早見表〉を示した。

標本誤差および〈標本誤差早見表〉は、以下のように使用する。

例えば、問1の「あなたは、練馬区の住みごこちをどう思いますか」という質問に対して、「住みよい」と答えた人は1,114人のうち40.9%であった。回答者数が1,114人、回答率が40%前後のときの標本誤差は、〈標本誤差早見表〉では±4.15%であるから、「住みよい」と考えている人は、練馬区在住の満18歳以上の男女全体（母集団）の36.75%から45.05%の間にあると推定できる。ただし信頼度は95%であるので、この推定は95%の確率で正しいといえることになる。

### 〈標本誤差算出式〉（信頼度：95%）

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$b$ = 標本誤差	$N$ = 母集団（練馬区全体）
$n$ = 回答者数	$P$ = 回答の比率（ $0 \leq P \leq 1$ ）

### 〈標本誤差早見表〉（信頼度：95%）

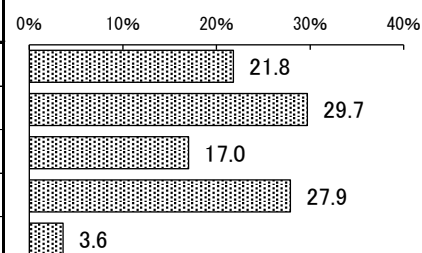
回答比率(P) 回答者数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,114	± 2.54	± 3.39	± 3.88	± 4.15	± 4.24
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
900	± 2.83	± 3.77	± 4.32	± 4.62	± 4.71
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
300	± 4.90	± 6.53	± 7.48	± 8.00	± 8.16
100	± 8.49	±11.31	±12.96	±13.86	±14.14

(注)  $N$ は $n$ より非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

## 9 回答者の属性

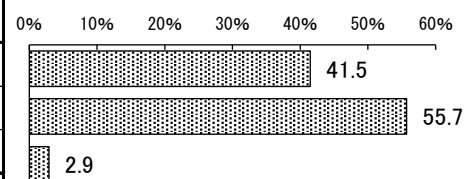
### [ 地区 ]

	基 数	構 成 比
I 地区 (〒176)	243	21.8%
II 地区 (〒177)	331	29.7%
III 地区 (〒178)	189	17.0%
IV 地区 (〒179)	311	27.9%
無回答	40	3.6%
合 計	1,114	100.0%



### [ 性別 ]

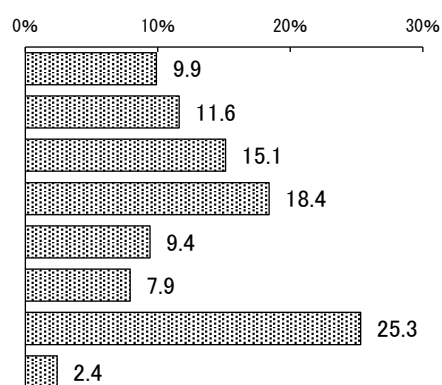
	基 数	構 成 比
男性	462	41.5%
女性	620	55.7%
無回答	32	2.9%
合 計	1,114	100.0%





[ 年齢 ]

	基数	構成比
18～29歳	110	9.9%
30～39歳	129	11.6%
40～49歳	168	15.1%
50～59歳	205	18.4%
60～64歳	105	9.4%
65～69歳	88	7.9%
70歳以上	282	25.3%
無回答	27	2.4%
合計	1,114	100.0%



《 地区別 》

	n	男性 (計)								女性 (計)								(性別無回答)
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	(年齢無回答)	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	(年齢無回答)	
全体	1,114	41.5	3.7	4.0	6.6	7.7	7.7	11.6	0.1	55.7	6.1	7.4	8.3	10.5	9.6	13.6	0.2	2.9
I地区 (〒176)	243	41.6	3.7	6.2	5.8	9.1	7.4	9.1	0.4	57.2	7.0	10.7	7.8	8.2	10.7	12.8	-	1.2
II地区 (〒177)	331	43.8	3.9	3.3	8.2	7.9	9.7	10.9	-	55.3	6.9	8.2	6.0	10.3	8.8	14.8	0.3	0.9
III地区 (〒178)	189	45.0	3.7	3.7	5.3	7.9	9.0	15.3	-	52.4	1.1	5.3	12.7	7.4	10.6	15.3	-	2.6
IV地区 (〒179)	311	39.9	3.9	3.9	7.1	7.4	5.5	12.2	-	58.5	6.8	6.1	9.3	15.1	9.3	11.6	0.3	1.6
(地区無回答)	40	17.5	-	-	2.5	-	5.0	10.0	-	42.5	12.5	-	2.5	5.0	7.5	15.0	-	40.0

<参考>性・年齢別の母集団との比較

		計	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(年齢無回答)
男性	母集団	47.9	8.3	7.7	8.6	8.9	6.0	8.3	-
	調査結果	41.5	3.7	4.0	6.6	7.7	7.7	11.6	0.1
女性	母集団	52.1	8.9	8.1	8.4	8.8	6.0	11.9	-
	調査結果	55.7	6.1	7.4	8.3	10.5	9.6	13.6	0.2
(性別無回答)		2.9	0.1	0.2	0.1	0.2	-	0.2	2.2

[ 職業 ]

	基 数	構成比	
自営業	74	6.6%	6.6
家族従業 (家事手伝い)	8	0.7%	0.7
自由業	11	1.0%	1.0
会社役員	58	5.2%	5.2
常勤の勤め人	405	36.4%	36.4
パート・臨時の勤め人	166	14.9%	14.9
専業主婦 (夫)	119	10.7%	10.7
学生	32	2.9%	2.9
無職	201	18.0%	18.0
その他	7	0.6%	0.6
無回答	33	3.0%	3.0
合 計	1,114	100.0%	

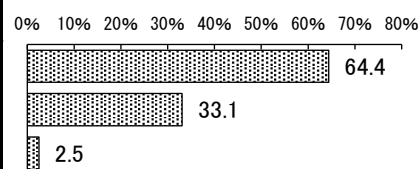
《 地区別 》

	n	自営業 (計)				勤め人 (計)				無職 (計)	無職 (計)				無回答
		自営業	家族従業 (家事手伝い)	自由業	会社役員	常勤の勤め人	パート・臨時の勤め人	専業主婦 (夫)	学生		無職	その他			
全 体	1,114	8.3	6.6	0.7	1.0	56.5	5.2	36.4	14.9	32.2	10.7	2.9	18.0	0.6	3.0
I 地区 (〒176)	243	9.5	7.0	1.2	1.2	61.7	6.6	44.4	10.7	27.2	12.3	2.9	10.7	1.2	1.6
II 地区 (〒177)	331	9.1	7.6	0.3	1.2	55.0	3.9	37.5	13.6	35.3	11.5	3.3	20.2	0.3	0.6
III 地区 (〒178)	189	8.5	6.3	1.6	0.5	52.4	5.8	27.5	19.0	35.4	10.6	1.6	23.3	-	3.7
IV 地区 (〒179)	311	7.4	6.1	0.3	1.0	61.1	5.8	36.7	18.6	29.9	9.3	2.6	17.4	0.6	1.6
(地区無回答)	40	2.5	2.5	-	-	20.0	-	17.5	2.5	40.0	5.0	7.5	25.0	2.5	37.5

(注) 自営業 (計) は、自営業、家族従業 (家事手伝い)、自由業を合わせたもの  
 勤め人 (計) は、会社役員、常勤の勤め人、パート・臨時の勤め人を合わせたもの  
 無職 (計) は、専業主婦 (夫)、学生、無職、その他を合わせたもの

[ 配偶者の有無 ]

	基 数	構 成 比
いる	717	64.4%
いない (死別含む)	369	33.1%
無回答	28	2.5%
合 計	1,114	100.0%



《 地区別 》

(%)

	n	い る	(い な い 死 別 含 む)	無 回 答
全 体	1,114	64.4	33.1	2.5
I 地区 (n176)	243	61.7	37.0	1.2
II 地区 (n177)	331	67.4	31.7	0.9
III 地区 (n178)	189	72.0	25.9	2.1
IV 地区 (n179)	311	62.7	35.7	1.6
(地区無回答)	40	32.5	35.0	32.5

[ 子どもの状況 ]

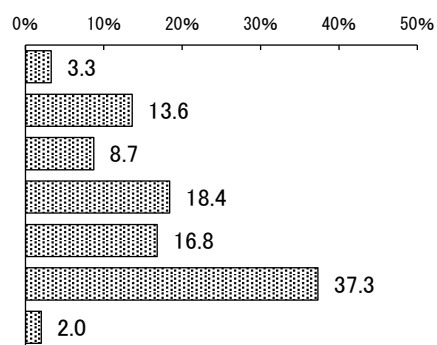
	基 数	構成比
子どもはいない	376	33.8%
一番上の子どもが小学校入学前	73	6.6%
一番上の子どもが小・中学生	99	8.9%
一番上の子どもが高校生・大学生	89	8.0%
一番上の子どもが学校卒業	380	34.1%
無回答	97	8.7%
合 計	1,114	100.0%

《 地区別 》

	n	子どもはいない	小一 学 校 上 の 学 子 前 が	小一 ・ 番 上 の 中 学 生 子 ど も が	高一 校 番 上 の 大 学 生 子 ど も が	学一 校 卒 業 上 の 子 ど も が	無 回 答
全 体	1,114	33.8	6.6	8.9	8.0	34.1	8.7
I 地区 (〒176)	243	43.2	9.5	5.8	6.6	29.2	5.8
II 地区 (〒177)	331	32.0	8.2	12.4	7.3	33.8	6.3
III 地区 (〒178)	189	23.8	4.2	11.6	10.1	41.3	9.0
IV 地区 (〒179)	311	36.0	4.8	7.1	9.3	34.4	8.4
(地区無回答)	40	20.0	-	-	2.5	30.0	47.5

[ 居住年数 ]

	基数	構成比
1年未満	37	3.3%
1年～5年	151	13.6%
6年～10年	97	8.7%
11年～20年	205	18.4%
21年～30年	187	16.8%
31年以上	415	37.3%
無回答	22	2.0%
合計	1,114	100.0%

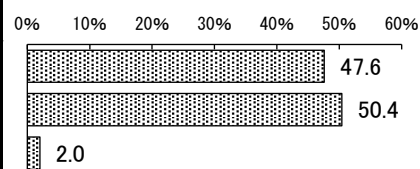


《 地区別 》

	n	短期居住者 (計)		中期居住者 (計)		中長期居住者 (計)		長期居住者 (計)		無回答		
		1年未満	1年～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年以上					
全体	1,114	16.9	3.3	13.6	8.7	8.7	18.4	18.4	54.0	16.8	37.3	2.0
I地区 (〒176)	243	21.4	5.8	15.6	11.1	11.1	19.3	19.3	46.9	13.2	33.7	1.2
II地区 (〒177)	331	17.8	3.0	14.8	10.0	10.0	19.3	19.3	52.3	17.2	35.0	0.6
III地区 (〒178)	189	9.0	1.6	7.4	4.8	4.8	20.1	20.1	64.6	20.1	44.4	1.6
IV地区 (〒179)	311	18.0	2.6	15.4	8.0	8.0	15.8	15.8	56.9	18.6	38.3	1.3
(地区無回答)	40	10.0	5.0	5.0	7.5	7.5	17.5	17.5	40.0	5.0	35.0	25.0

[ 住居形態 ]

	基 数	構成比
一戸建て	530	47.6%
集合住宅(アパート、マンション)	562	50.4%
無回答	22	2.0%
合 計	1,114	100.0%



《 地区別 》

(%)

	n	一戸建て	集合住宅(アパート、マンション)	無回答
全 体	1,114	47.6	50.4	2.0
I 地区 (〒176)	243	35.4	63.8	0.8
II 地区 (〒177)	331	51.7	47.7	0.6
III 地区 (〒178)	189	65.6	32.3	2.1
IV 地区 (〒179)	311	43.7	55.0	1.3
(地区無回答)	40	32.5	42.5	25.0

[ 住居所有形態 ]

	基 数	構 成 比
自己（家族）所有	701	62.9%
民間賃貸住宅	292	26.2%
UR（旧公団）・公社・公営賃貸住宅	52	4.7%
社宅	25	2.2%
その他	7	0.6%
無回答	37	3.3%
合 計	1,114	100.0%

《 地区別 》

	n	自己（家族）所有	民間賃貸住宅	公U社R（旧公団）・公営賃貸住宅	社宅	その他	無回答
全 体	1,114	62.9	26.2	4.7	2.2	0.6	3.3
I 地区（〒176）	243	59.3	33.7	1.2	2.1	1.2	2.5
II 地区（〒177）	331	71.6	23.3	1.8	1.8	0.6	0.9
III 地区（〒178）	189	67.7	23.3	4.8	2.1	-	2.1
IV 地区（〒179）	311	57.9	26.0	10.6	2.9	0.3	2.3
（地区無回答）	40	30.0	20.0	2.5	2.5	2.5	42.5

[ 家族人数 ]



《 地区別 》

(%)

	n	ひとりぐらし	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全 体	1,114	17.1	31.0	22.5	19.5	5.0	1.3	0.5	3.1
I地区 (〒176)	243	24.7	27.6	25.9	16.0	2.9	1.2	-	1.6
II地区 (〒177)	331	16.3	31.7	19.3	21.5	6.3	1.8	1.2	1.8
III地区 (〒178)	189	9.0	32.3	24.9	23.8	5.8	1.1	0.5	2.6
IV地区 (〒179)	311	17.4	32.5	23.5	18.6	5.5	0.6	0.3	1.6
(地区無回答)	40	12.5	27.5	10.0	10.0	-	2.5	-	37.5



[ 家族構成 ]

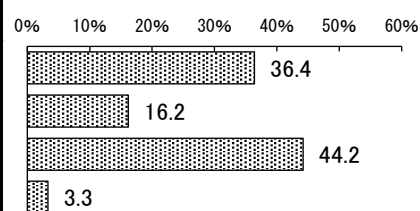
	基 数	構 成 比
ひとりぐらし	190	17.1%
夫婦のみ	260	23.3%
親と未婚の子どもの二世帯	494	44.3%
親と子ども夫婦の二世帯	56	5.0%
親と子どもと孫の三世帯	48	4.3%
その他	24	2.2%
無回答	42	3.8%
合 計	1,114	100.0%

《 地区別 》

	n	ひとりぐらし	夫婦のみ	の親と二世帯未婚の子どもの	二親と二世帯子ども夫婦の	三親と三世帯子どもと孫の	その他	無回答
全 体	1,114	17.1	23.3	44.3	5.0	4.3	2.2	3.8
I 地区 (〒176)	243	24.7	22.2	42.4	4.5	2.5	1.6	2.1
II 地区 (〒177)	331	16.3	23.3	45.6	3.6	6.6	2.1	2.4
III 地区 (〒178)	189	9.0	25.9	50.3	5.8	3.2	3.2	2.6
IV 地区 (〒179)	311	17.4	23.8	42.8	7.1	4.5	1.6	2.9
(地区無回答)	40	12.5	15.0	30.0	-	-	5.0	37.5

[ 通勤・通学場所 ]

	基 数	構成比
通勤・通学はしていない	405	36.4%
練馬区内に通勤・通学している	180	16.2%
練馬区外に通勤・通学している	492	44.2%
無回答	37	3.3%
合 計	1,114	100.0%



《 地区別 》

(%)

	n	い 通 勤 し て い な い ・ 通 学 は し て い な い	通 練 学 し て い る ・ 練 馬 区 内 に い る 通 勤 ・ 通 学	通 練 学 し て い る ・ 練 馬 区 外 に い る 通 勤 ・ 通 学	無 回 答
全 体	1,114	36.4	16.2	44.2	3.3
I 地区 (〒176)	243	33.7	15.2	50.6	0.4
II 地区 (〒177)	331	38.1	14.2	45.9	1.8
III地区 (〒178)	189	42.3	20.6	34.4	2.6
IV地区 (〒179)	311	34.1	17.7	46.6	1.6
(地区無回答)	40	27.5	5.0	17.5	50.0